

ナブテスコ株式会社

2020年12月期第2四半期 決算説明会

2020年8月11日
CEO 寺本 克弘

1. サマリー

2. 2020年12月期第2四半期連結業績概況

3. 2020年12月期通期連結業績見通し

1. サマリー

2. 2020年12月期第2四半期連結業績概況

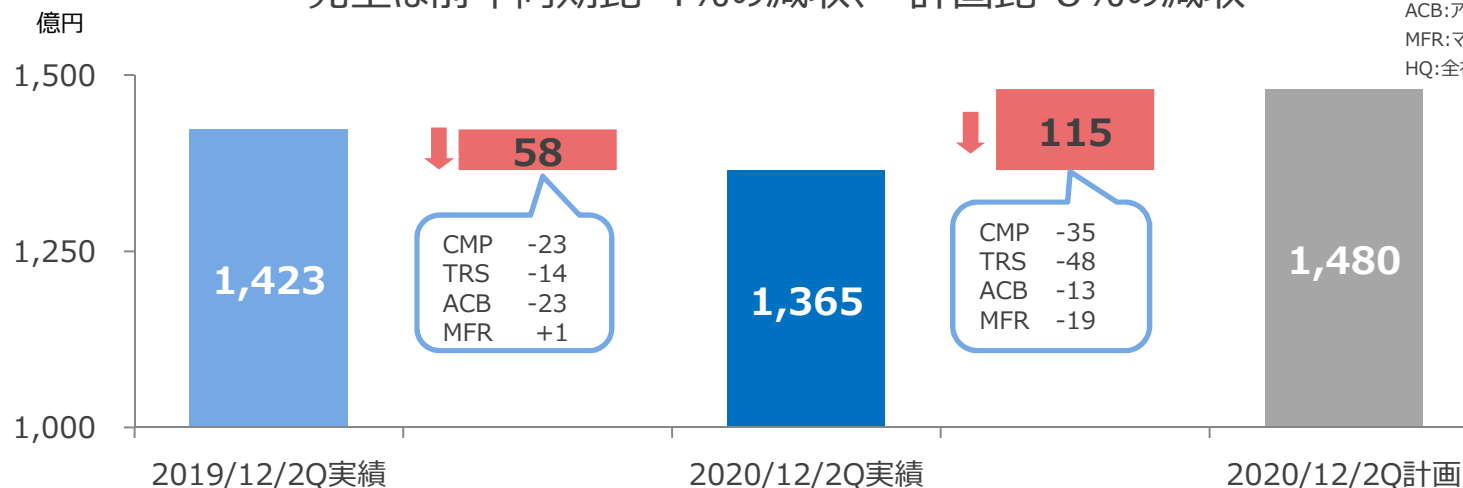
3. 2020年12月期通期連結業績見通し

2020年12月期 第2四半期サマリー

売上高比較

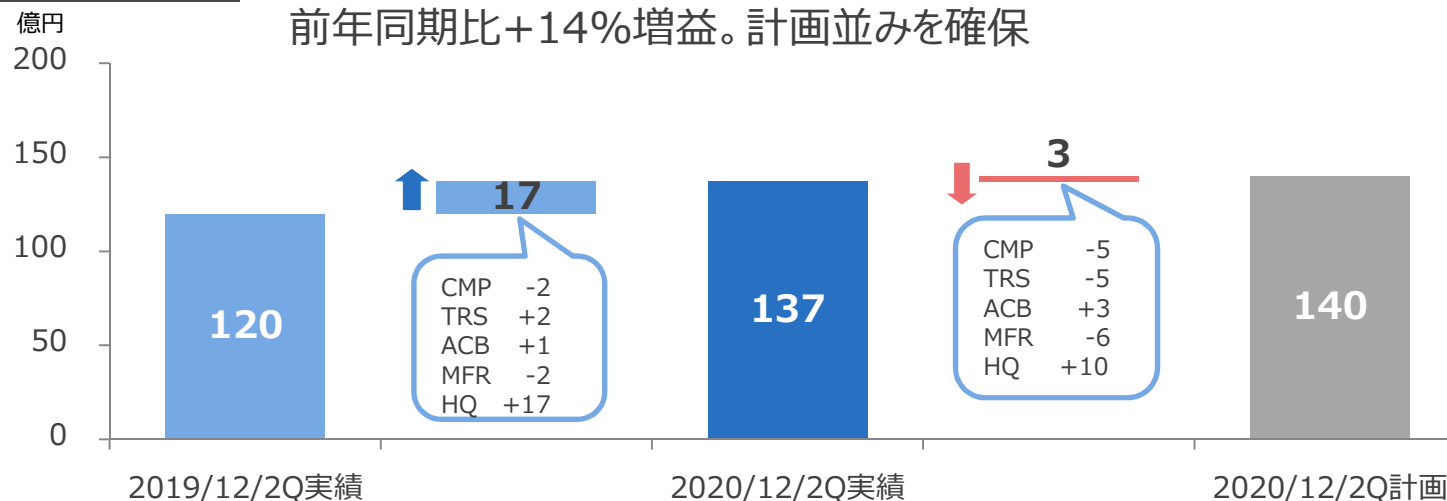
■ 新型コロナウイルスの影響により、主要セグメントの需要が減少し
売上は前年同期比-4%の減収、計画比-8%の減収

CMP:コンポーネントソリューションセグメント
TRS:トランスポートソリューションセグメント
ACB:アクセシビリティソリューションセグメント
MFR:マニファクチャリングソリューションセグメント
HQ:全社または消去



営業利益比較

■ 減収による減益はあるものの、経費抑制及び非事業用不動産の売却益により
前年同期比+14%増益。計画並みを確保

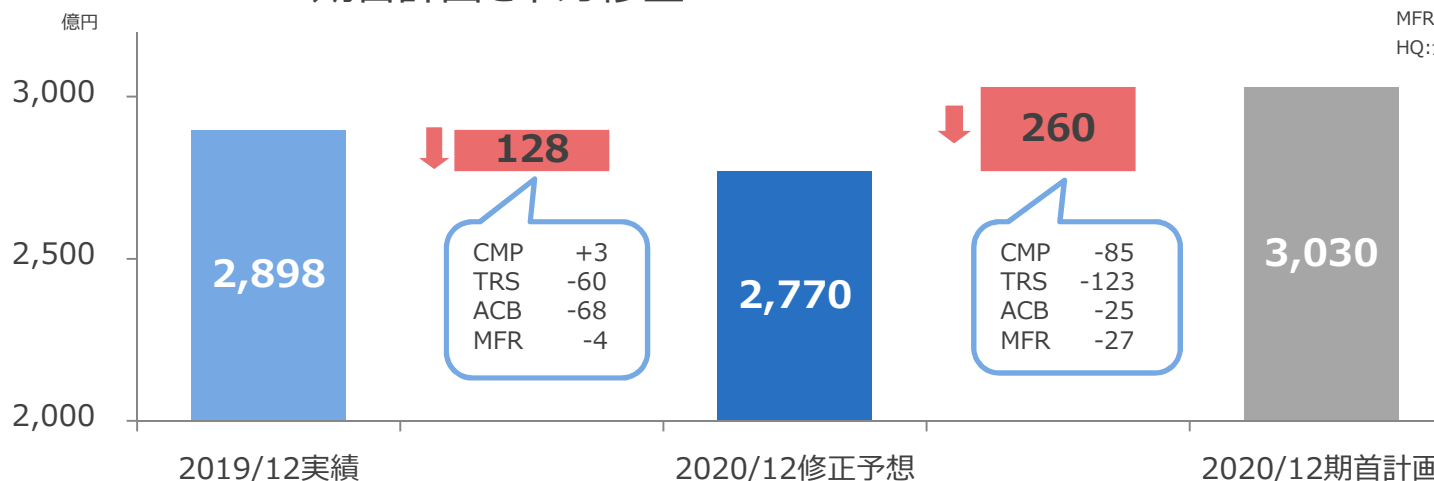


2020年12月期 通期業績予想サマリー

売上高比較

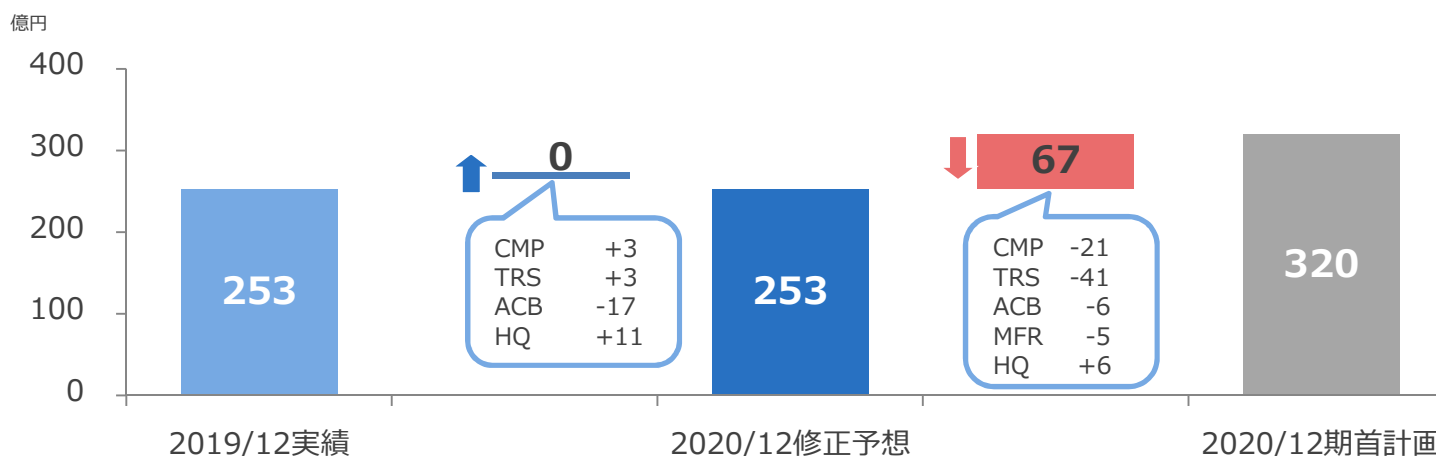
■ 新型コロナウイルスの影響により各セグメントの需要が低迷し、期首計画を下方修正

CMP:コンポーネントソリューションセグメント
 TRS:トランスポートソリューションセグメント
 ACB:アクセシビリティソリューションセグメント
 MFR:マニュファクチャリングソリューションセグメント
 HQ:全社または消去



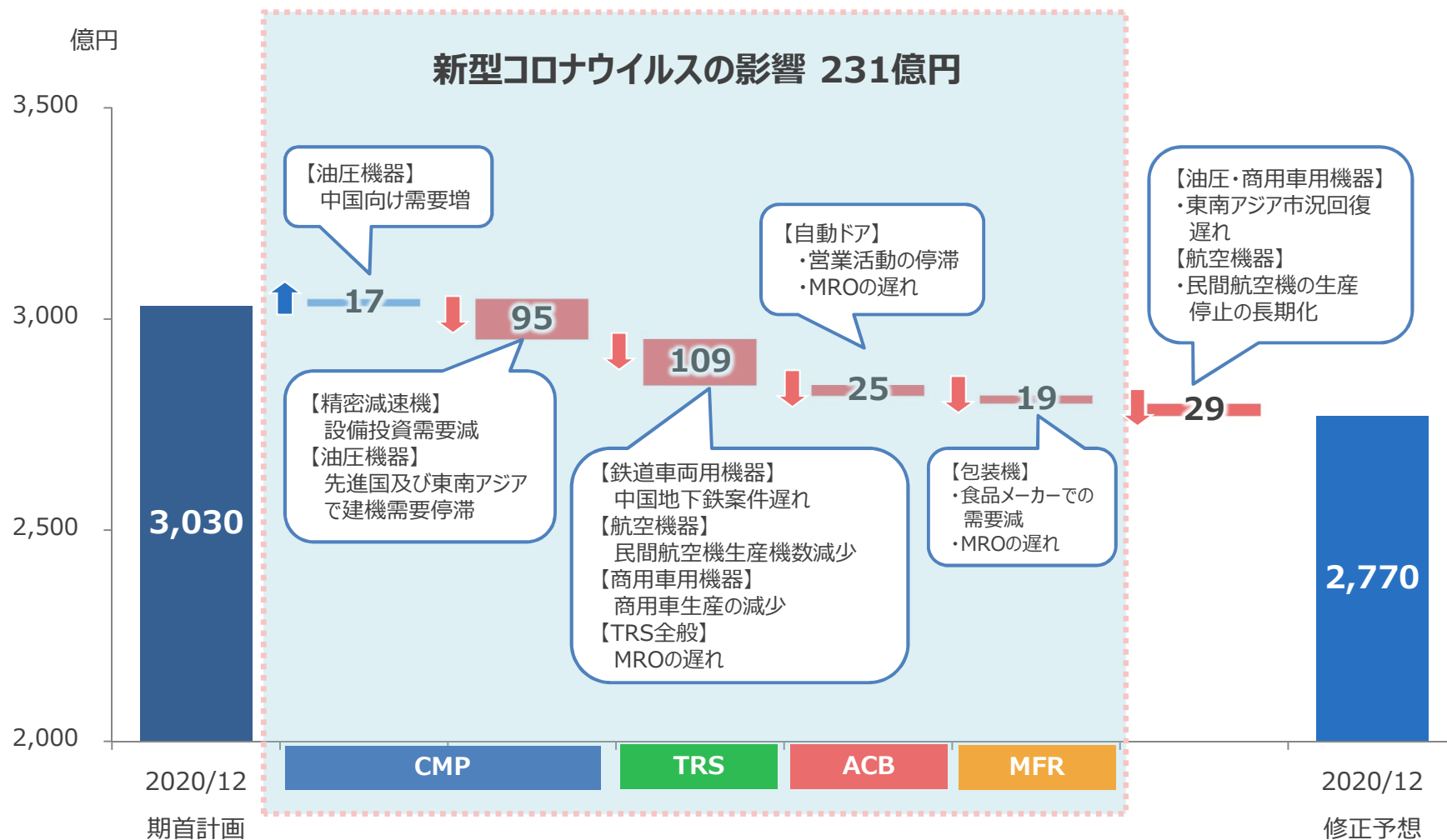
営業利益比較

■ 経費抑制を行うも減収による減益により、期首計画を下方修正













新型コロナウイルスの影響について（売上高）

■ 今回の業績予想修正の主因は、直接・間接的な新型コロナウイルスの影響



新型コロナウイルスの影響

アンダーコロナとアフターコロナでの当社事業へのリスクと機会

	コロナが引き起こす事象	影響	影響を受ける事業					
短中期	移動制限 ロックダウン	<ul style="list-style-type: none"> ・ 営業活動の停滞 ・ 旅客需要の減少 ・ 据付工事の遅れ 	 航空機器  自動ドア  包装機  MRO					
	経済の不透明性 景況感悪化 IMF World Economic Outlook <table border="1" data-bbox="517 818 981 930"> <tr> <td></td> <td>2020</td> <td>2021</td> </tr> <tr> <td>GDP成長率</td> <td>- 4.9%</td> <td>+5.4%</td> </tr> </table>		2020	2021	GDP成長率	- 4.9%	+5.4%	<ul style="list-style-type: none"> ・ 設備投資の抑制 ・ 製品購入サイクルの長期化・買控え ・ 物流量の減少
	2020	2021						
GDP成長率	- 4.9%	+5.4%						
中長期	各国政府による 景気刺激策の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中国でのインフラ投資の増加 ・ EV/HV補助金の実施 	 精密減速機  油圧機器					
	新しい生活様式 3密回避	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自動化/省人化ニーズの増加 ・ 非接触ニーズの増加 ・ 旅客需要の回復 	 精密減速機  包装機  自動ドア  航空機器					

1. サマリー

2. 2020年12月期第2四半期連結業績概況

3. 2020年12月期通期連結業績見通し

2020年12月期 第2四半期連結業績概況

- 新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、前年同期比、計画比ともに減収だが、販管費等の抑制及び非事業用不動産売却等により前年同期比増益。

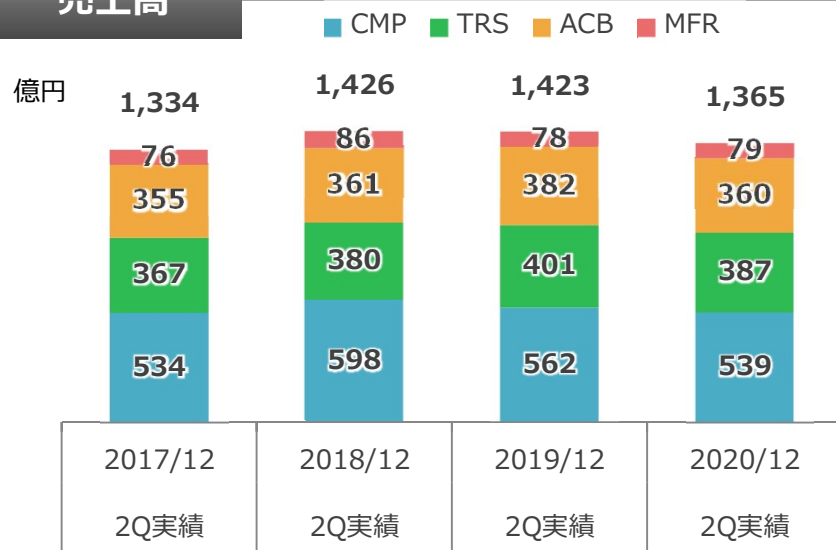
(単位：百万円)	2019/12	2020/12	2020/12	前期同期比	計画比
	2Q実績 (A)	2/7公表 2Q計画 (B)	2Q実績 (C)	増減額 (C-A)	増減額 (C-B)
売上高	142,292	148,000	136,486	-5,806	-11,514
売上総利益	37,593	—	36,160	-1,433	—
(売上総利益率)	26.4%	—	26.5%	0.1pt	—
販売費及び一般管理費	26,151	—	24,608	-1,543	—
営業利益	12,011	14,000	13,669	1,658	-331
(営業利益率)	8.4%	9.5%	10.0%	1.6pt	0.6pt
税引前利益	13,488	15,000	14,693	1,205	-307
当期利益* ¹	7,706	9,200	9,392	1,686	192

一株当たり当期利益	62.11円	74.14円	75.66円
中間配当	36円	41円(予)	41円

*1当期利益 = 親会社の所有者に帰属する当期利益

2020年12月期 第2四半期セグメント別売上、営業利益実績

売上高



全体：前年同期比減収

【前年同期比】

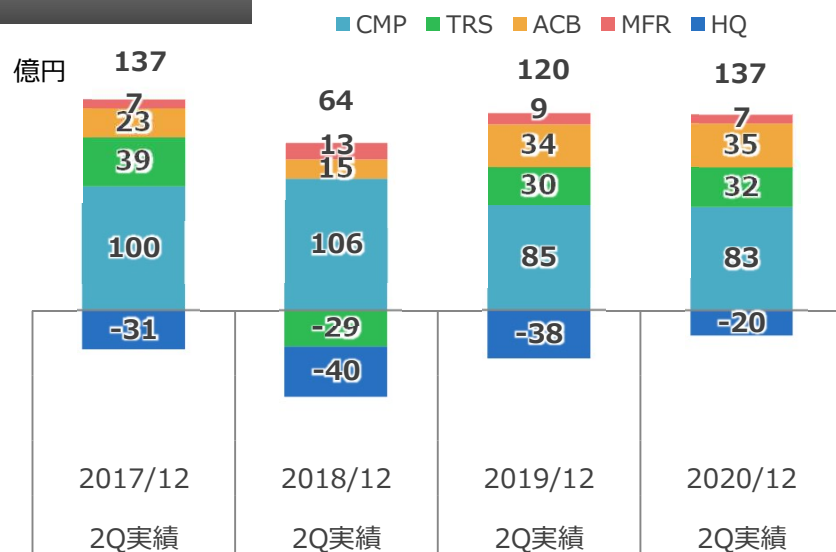
CMP: 精密減速機は自動車産業等各種産業での設備投資が引き続き抑制され、前年同期並み。
油圧機器は、3月以降中国市場での需要が回復したものの、先進国や東南アジア市場での需要が減少し減収。

TRS: 航空機器は、民間航空機向けの需要が減少し減収。
商用車用機器は国内市場および東南アジア市場の需要が停滞し減収。

ACB: 当初予定していた減収に加え、コロナ影響により、国内外の建物用ドアのOEM/MRO需要停滞により減収。

MFR: 包装機は新規受注の停滞はあるものの前年同期並み。

営業利益



全体：前年同期比増益

【前年同期比】

CMP: 経費抑制により前年同期並みの利益を確保。

TRS: 中国向けの準高速鉄道の増加による増益に加え、経費抑制により増益。

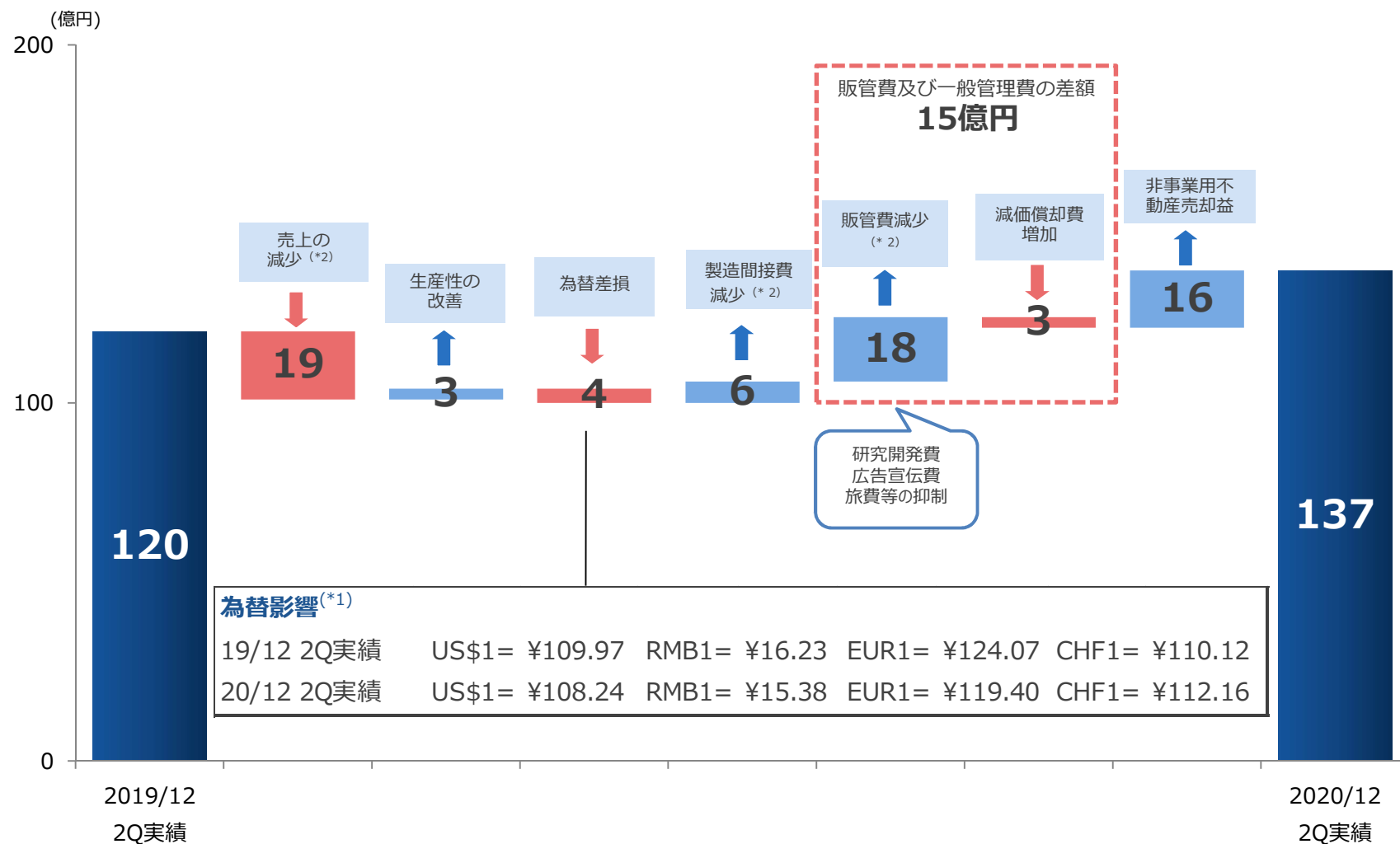
ACB: 製品構成差及び経費抑制により増益。

MFR: 製品構成差悪化により減益。

HQ: 非事業用不動産売却益（+16億円）及び経費抑制

2020年12月期 第2四半期営業利益変動要因分析（2019年2Q実績比）

■ 減収による減益はあるものの販管費の抑制及び非事業用不動産の売却益により増益



*1 為替感応度(為替が1円変動したときの営業利益に対する影響)： 米国ドル 61 百万円 人民元 410 百万円 ユーロ 軽微 スイスフラン 軽微

*2 売上および販管費等の増減による営業利益の変化については為替影響を除き計算。

2020年12月期 第2四半期バランスシート(2019年12月期末比)

- 自己資本比率は55%以上であり、引き続き健在なバランスシートを維持。
安定経営を図るため、現預金は月商の約2.8か月分を確保。

(単位：百万円)

	2019/12期末 2019年12月31日	2020/12 2Q末 2020年6月30日	差異
資 産	344,558	342,315	-2,242
(現 預 金 等)	58,686	61,655	2,970
(売 上 債 権)	70,175	65,120	-5,055
(棚 卸 資 産)	41,257	42,140	882
(有 形 固 定 資 産)	87,083	90,988	3,905
(使 用 権 資 産)	9,004	8,626	-378
負 債	145,424	140,168	-5,256
(社 債 及 び 借 入 金)	43,936	42,629	-1,306
資 本	199,133	202,147	3,014
(非 支 配 持 分)	11,735	11,330	-405
親 会 社 所 有 者 帰 属 持 分	187,398	190,817	3,419

親会社所有者帰属持分比率： 54.4% 55.7%

アジェンダ

1. サマリー

2. 2020年12月期第2四半期連結業績概況

3. 2020年12月期通期連結業績見通し

2020年12月期通期連結業績見通し

- 減収を見込むも、昨年並みの営業利益確保を目指す。
1株当たりの配当金は期首計画の82円を変更し、75円を予定。(前年比+2円の増配)

(単位：百万円)

	2019/12 通期実績 (A)	2020/12 期首計画 (B)	2020/12 修正予想 (C)
売上高	289,808	303,000	277,000
営業利益	25,320	32,000	25,300
(営業利益率)	8.7%	10.6%	9.1%
税引前利益	27,979	34,000	27,000
当期利益*1	17,931	23,100	17,300
ROA	5.3%	6.5%	5.0%
ROE	9.8%	12.0%	9.1%

前期実績比 増減額 (C-A)	期首計画比 増減額 (C-B)
-12,808	-26,000
-20	-6,700
0.4pt	-1.4pt
-979	-7,000
-631	-5,800
-0.3pt	-1.5pt
-0.7pt	-2.9pt

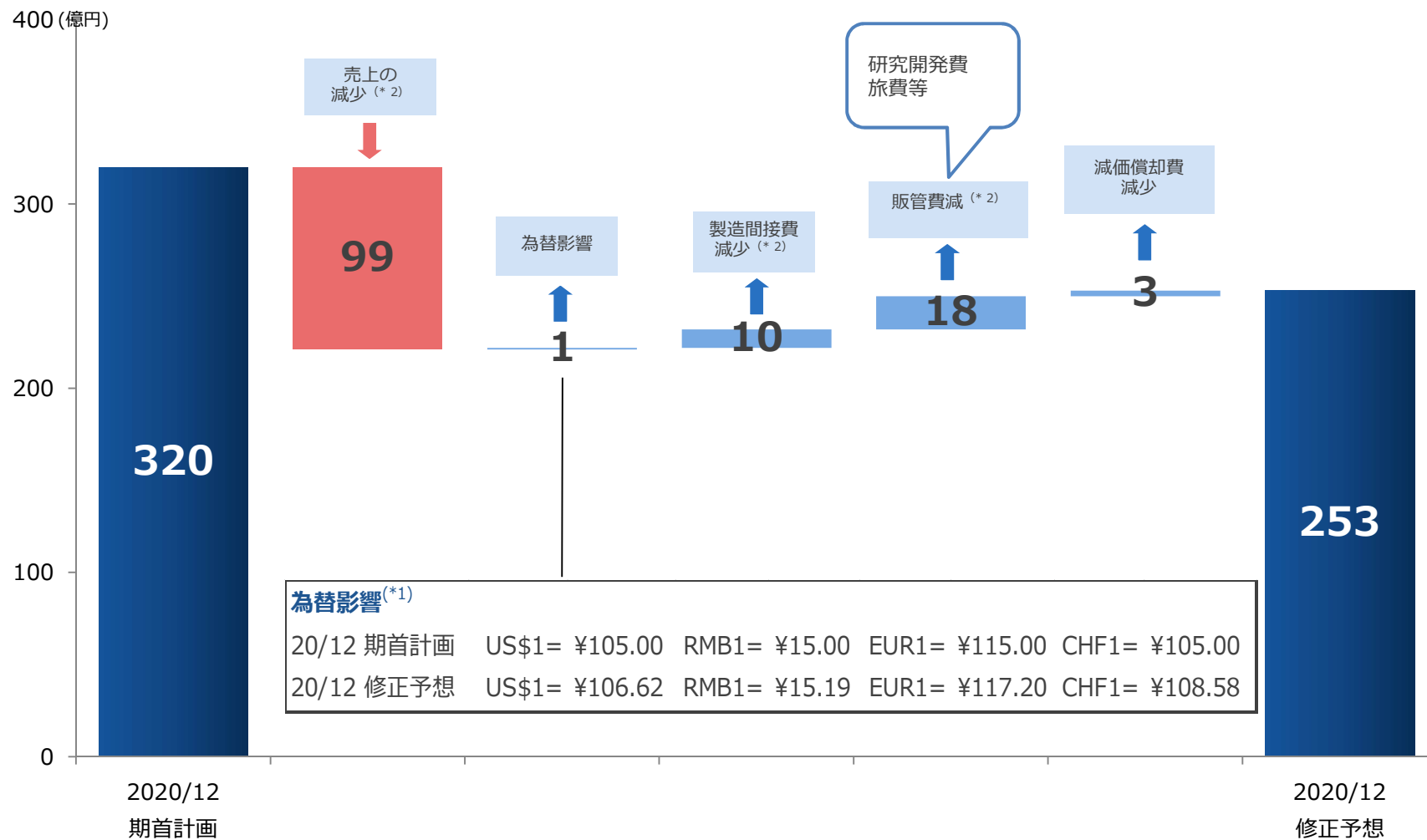
一株当たり配当金	73円	82円(予)	75円(予)
配当性向	50.5%	44.1%(予)	53.8%(予)

2円	-7円
3.3pt	9.7pt

*1当期利益 = 親会社の所有者に帰属する当期利益

2020年12月期 通期見通し営業利益変動要因分析（2020年期首比）

■ 販管費抑制により減収の落ち込みを最小化

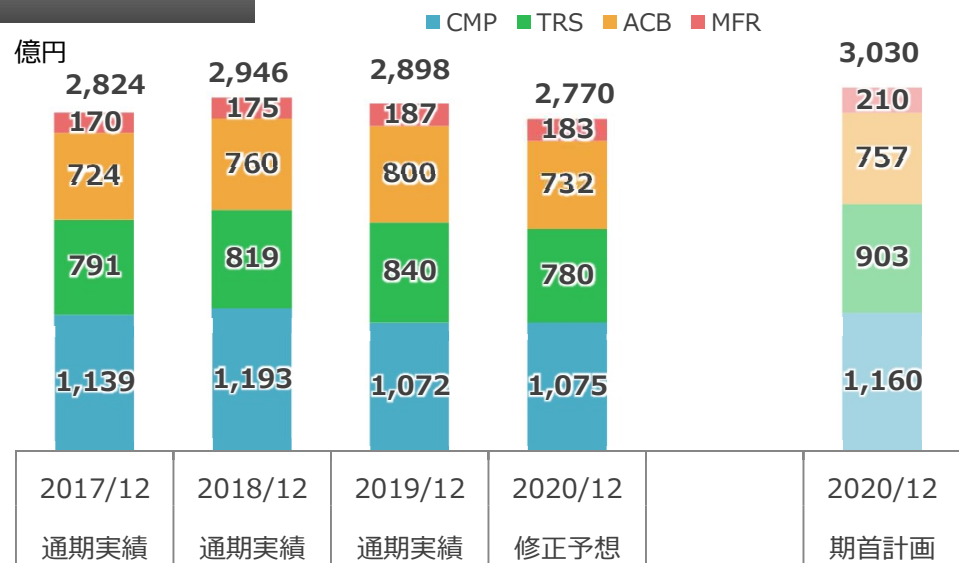


*1為替感応度(為替が1円変動したときの営業利益に対する影響)： 米国ドル 軽微 人民元 396 百万円 ユーロ 軽微 スイスフラン 軽微

*2売上および販管費等の増減による営業利益の変化については為替影響を除き計算。

2020年12月期セグメント別売上高、営業利益見通し

売上高



全体：期首想定した事業環境との乖離により業績予想を下方修正

【計画比】

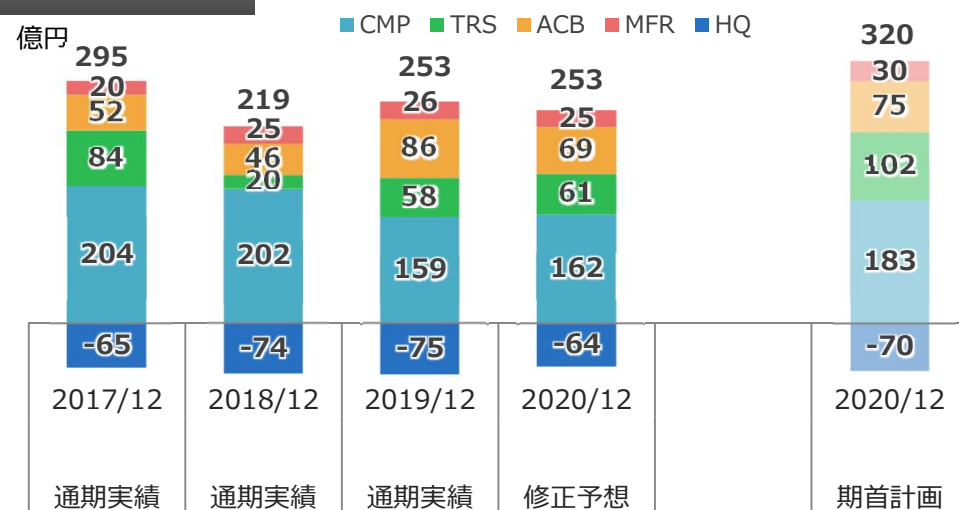
CMP：精密減速機は自動車産業等の設備投資需要の回復時期の遅れにより計画比減収。
油圧機器は中国市場は堅調も、先進国と東南アジア市場での需要停滞が継続し計画比減収。

TRS：民間航空機向け、商用車用機器では需要の停滞が継続。OvaloのAUDI向けが減少し計画比で減収。MRO需要も停滞。

ACB：当初予定していた減収に加え、国内外の建物用ドアのOEM/MROが需要停滞し計画比減収。

MFR：外食向けの包装機需要が低迷し、計画比減収。

営業利益



全体：減収による下方修正を行うも前年度並みのレベルを維持。

【計画比】

CMP：設備投資、経費抑制するも減収による減益

TRS：MRO需要の停滞や、減収による減益

ACB：経費抑制するも減益

MFR：減収による減益

HQ：経費抑制で費用削減

設備投資額・研究開発費・減価償却費

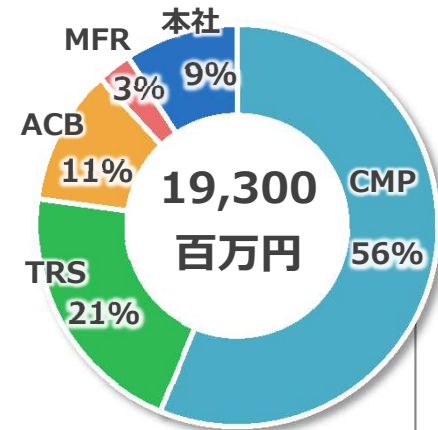
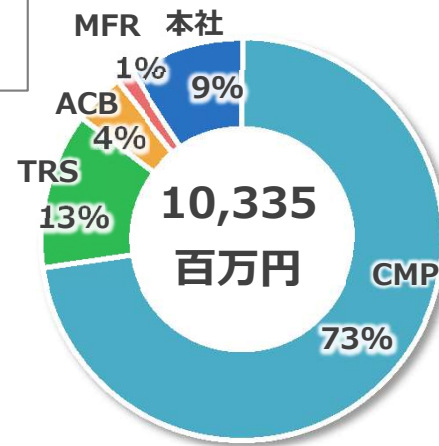
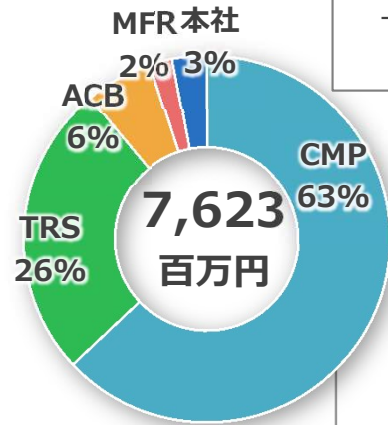
- 精密減速機の中長期的な成長を見込み、浜松の新工場用地の買収を完了（1Q 56億円）。その他、自動化・省人化投資等を中心に、通期でも選別的な成長投資を実施。
- 新型コロナウイルス影響により、研究開発費の進捗は計画比で遅れているものの将来の成長に必要な研究開発を継続。

(単位：億円)	2019/12	2020/12	前年同期比	2019/12	2020/12	2020/12	期首計画比
	2Q実績 (A)	2Q実績 (B)	(B-A)	通期実績	通期予想 修正 (C)	通期期首 計画 (D)	(C-D)
設備投資額	76	103	27	164	193	241	-48
研究開発費	48	44	-4	99	105	115	-10
減価償却費	64	67	3	131	132	135	-3

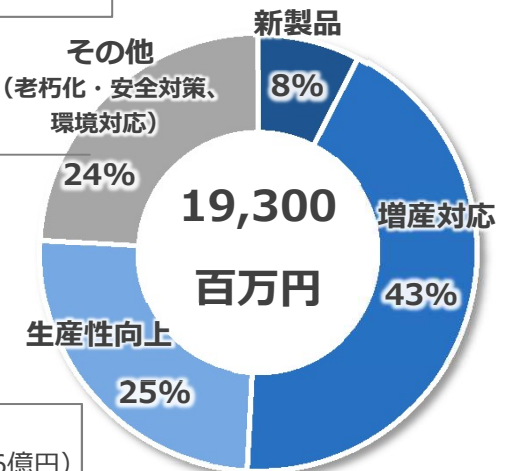
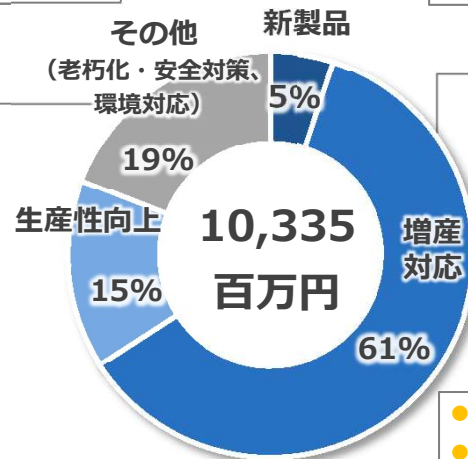
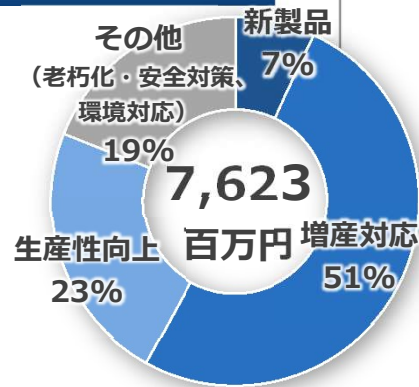
Appendix

設備投資額内訳

セグメント別



目的別



2019/12 2Q実績

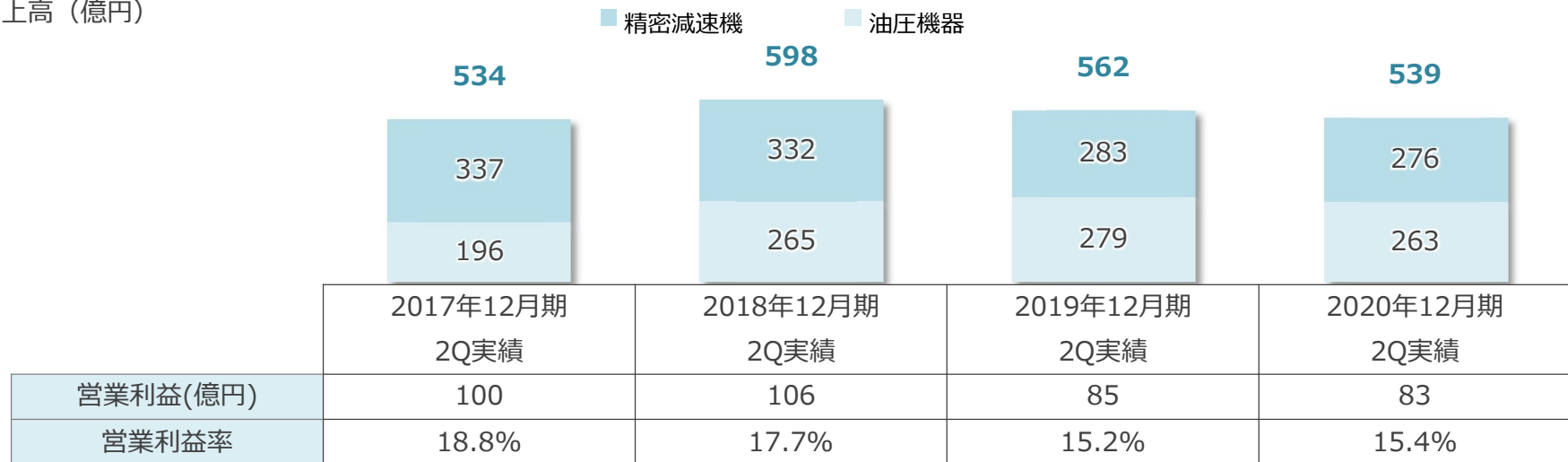
2020/12 2Q実績

2020/12修正予想

コンポーネントソリューションセグメント (CMP) : IFRS

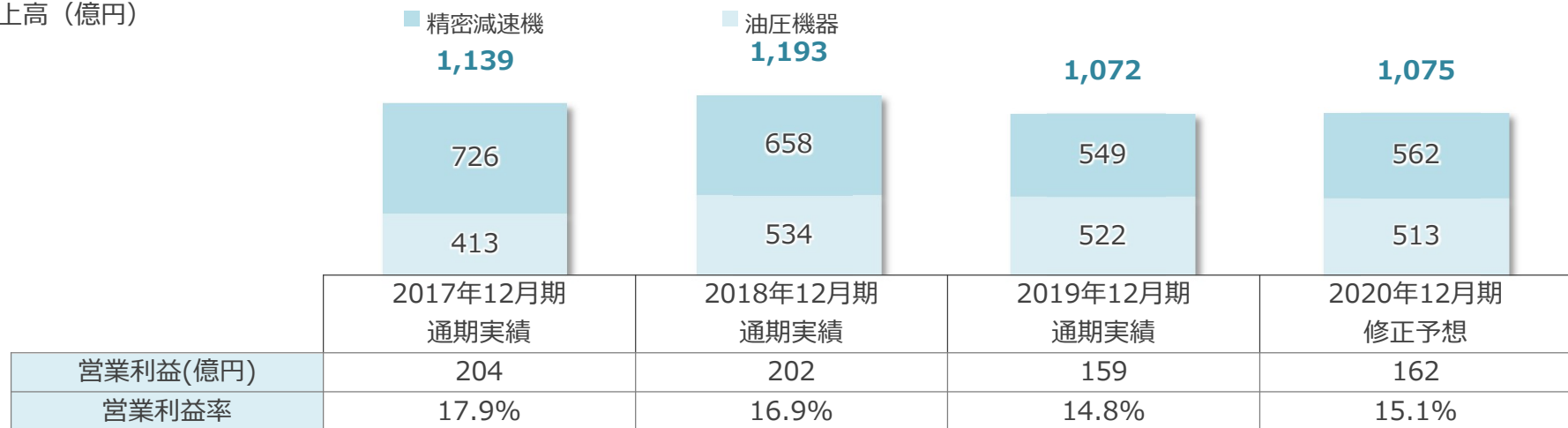
2Q実績

売上高 (億円)



通期予想

売上高 (億円)



トランスポートソリューションセグメント (TRS) : IFRS

2Q実績

売上高 (億円)

■ 鉄道車両用機器 ■ 航空機器 ■ 商用車用機器 ■ 船用機器 ■ その他

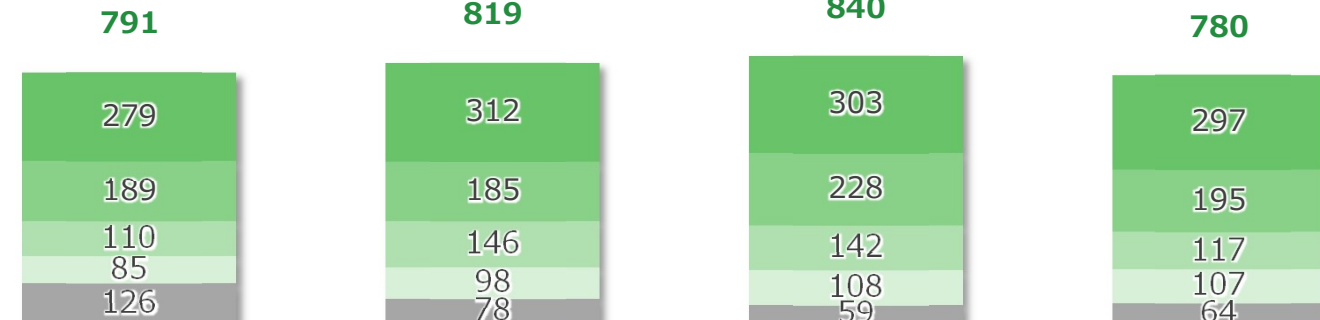


営業利益(億円)	39	-29	30	32
営業利益率	10.6%	-7.7%	7.6%	8.3%

通期予想

売上高 (億円)

■ 鉄道車両用機器 ■ 航空機器 ■ 商用車用機器 ■ 船用機器 ■ その他



営業利益(億円)	84	20	58	61
営業利益率	10.6%	2.5%	6.9%	7.8%

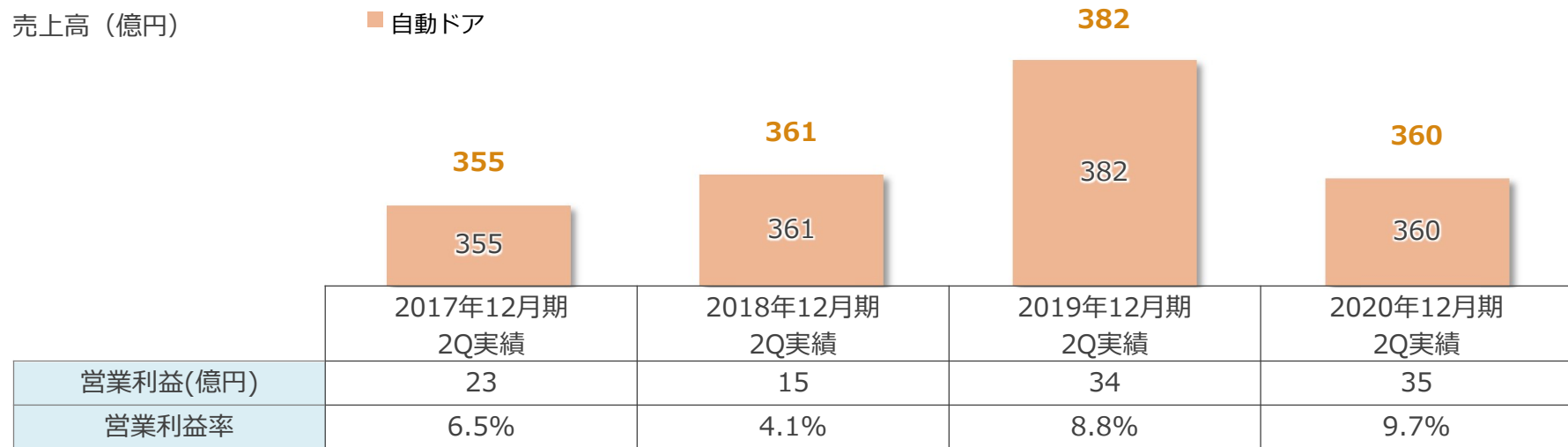
ナブテスコサービスの売上は2017/12通期と2018/12通期以降で消去調整を行いましたので単純比較ができません

アクセシビリティソリューションセグメント (ACB) : IFRS

2Q実績

売上高 (億円)

■ 自動ドア



通期予想

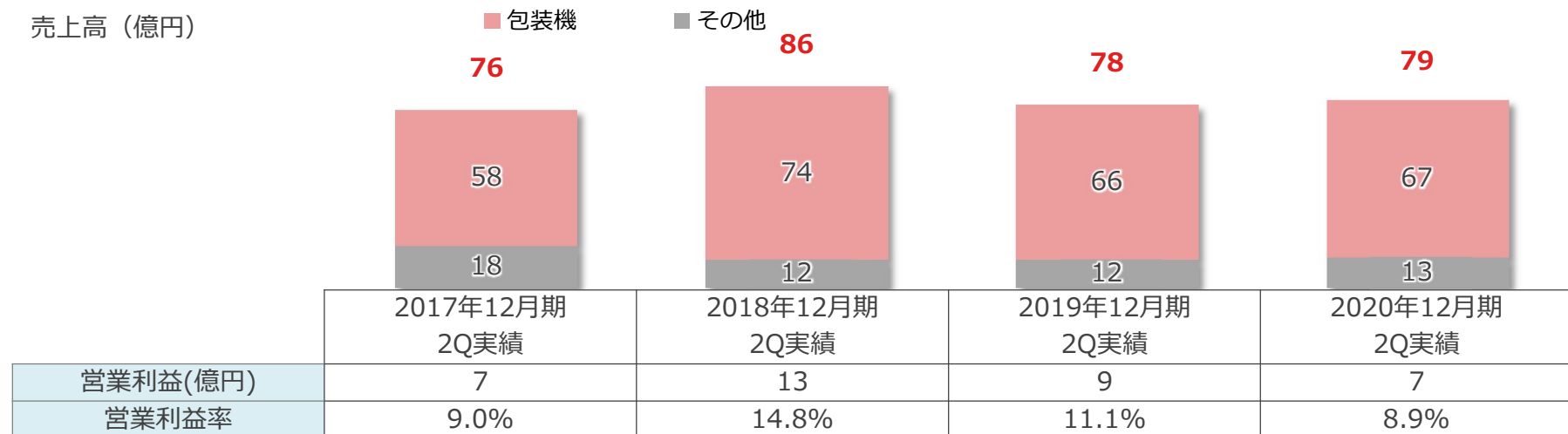
売上高 (億円)

■ 自動ドア

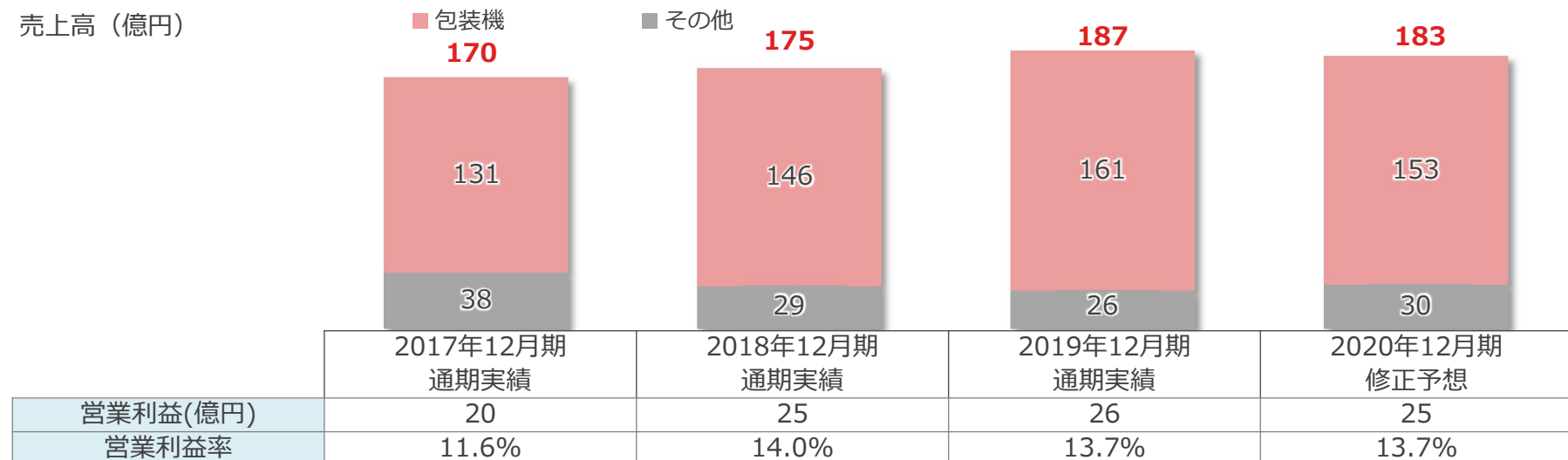


マニュファクチャリングソリューションセグメント (MFR) : IFRS

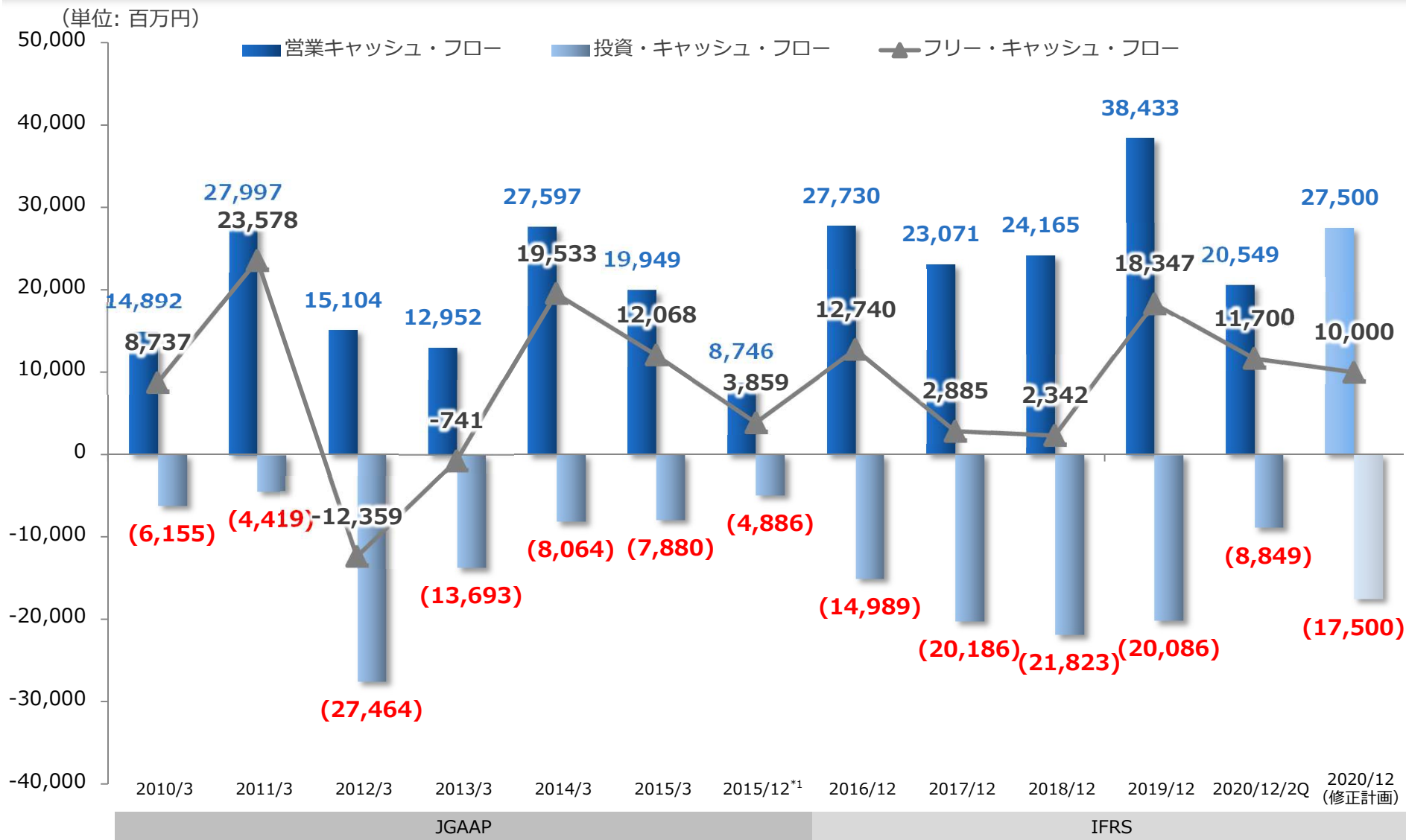
2Q実績



通期予想



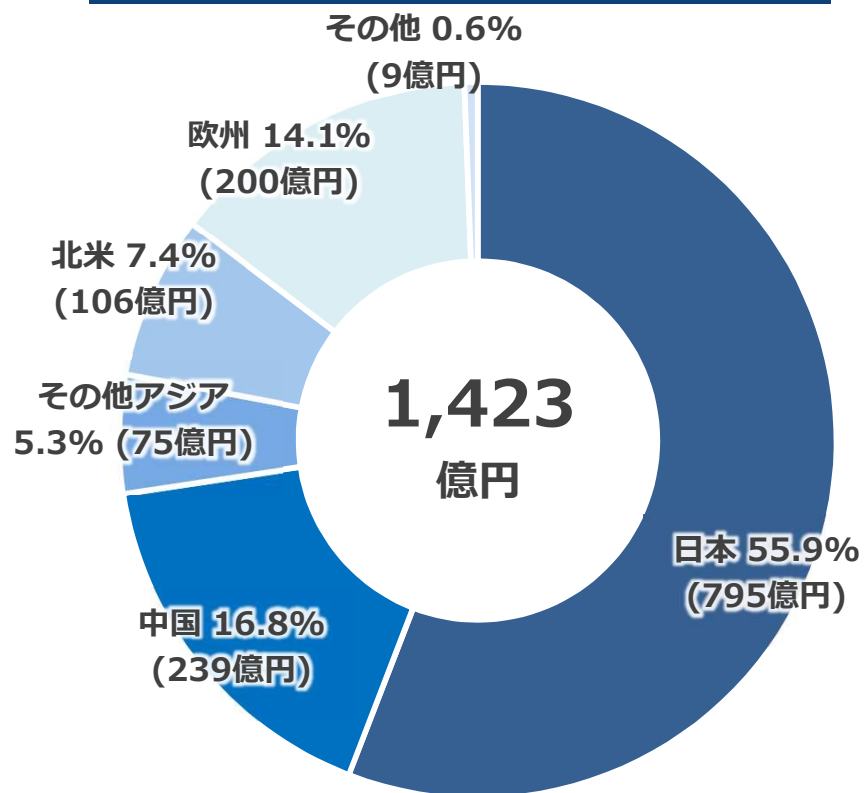
連結キャッシュ・フロー



*1 「2015年12月期実績(参考値)」として示す業績数値は、「2016年12月期実績(1-12月)」に対して、同条件で比較を行うため、比較対象期間を同期間(12カ月間)に置き換えて算出した数値となりますのでご留意下さい。

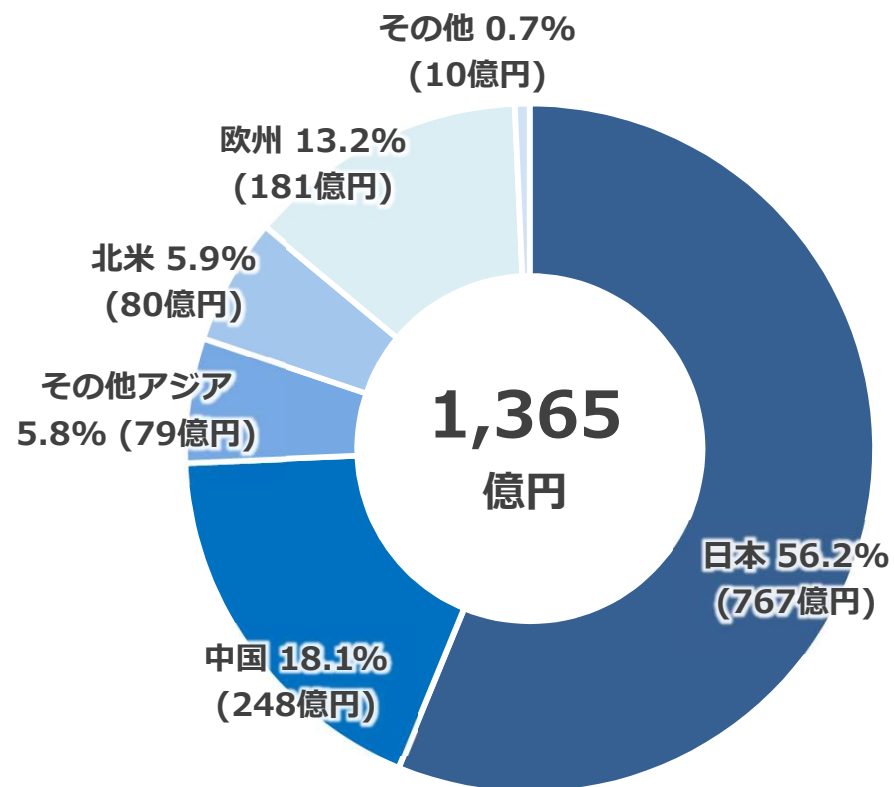
地域別売上高構成比

2019/12 上期実績



海外売上高	628億円
海外売上高比率	44.1%

2020/12 上期実績

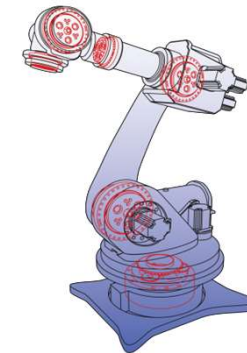
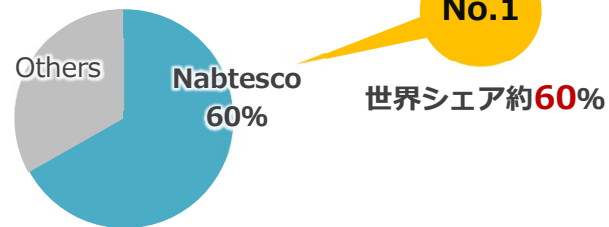


海外売上高	598億円
海外売上高比率	43.8%

コンポーネントソリューションセグメント (CMP) 主要製品

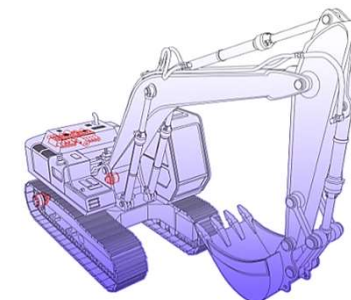
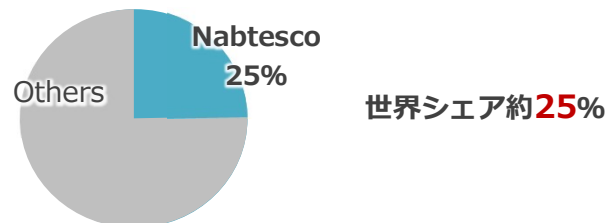
精密減速機

■ 中大型産業用ロボットの関節用途



油圧機器

■ 油圧ショベル用走行ユニット



主要顧客 (敬称略)

■ 精密減速機

産業用ロボット：ファナック、安川電機、川崎重工業、KUKA Roboter (独)、ABB Robotics (スウェーデン)

工作機械：ヤマザキマザック、オークマ、DMG森精機

■ 油圧機器

走行ユニット：コマツ、住友建機、コベルコ建機、Sany (中)、XCMG (中)、Liu Gong (中)

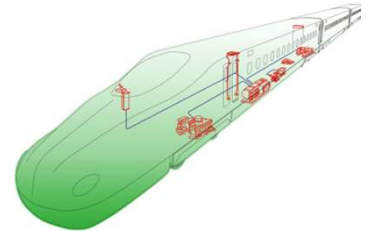
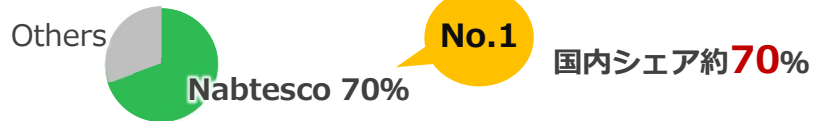
トランスポートソリューションセグメント (TRS) 主要製品

鉄道車両用機器

■ 鉄道車両用ブレーキシステム



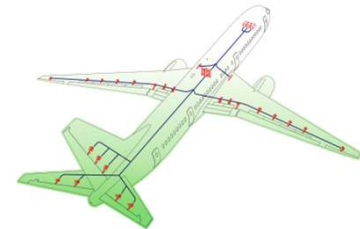
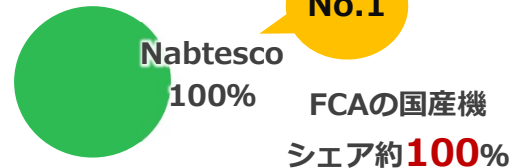
■ 鉄道車両用ドア開閉装置



航空機器

■ フライトコントロール・アクチュエーションシステム(FCA)

- FCAでは世界4強の1社(ボーイングの主要サプライヤー)
- エンジン補機、電源システム等へも事業展開



主要顧客 (敬称略)

■ 鉄道車両用機器

JR各社、民鉄各社、川崎重工業、中国高速鉄道・都市交通向け

■ 航空機器

Boeing (米)、川崎重工業、三菱重工業、IHI、防衛省、エアライン各社

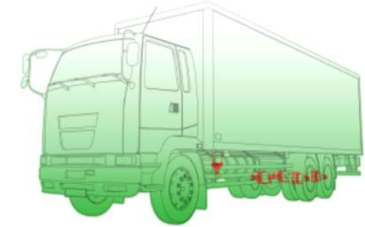
トランスポートソリューションセグメント (TRS) 主要製品

商用車用機器

■ 商用車用ウェッジチャンバー

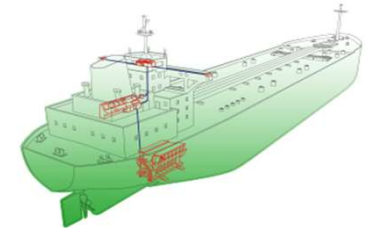


■ 商用車用エアドライヤー



舶用機器

■ 舶用エンジン遠隔制御システム



主要顧客 (敬称略)

■ 商用車用機器

日野自動車、いすゞ自動車、三菱ふそうトラック・バス、UDトラックス

■ 舶用機器

川崎重工業、マキタ、(株)日立造船、三井造船、(株)ジャパンエンジンコーポレーション、
Hyundai Heavy Industries (韓)、HSD Engine Co., Ltd.(韓)、Hudong Heavy Machinery (中)、MAN Diesel (デンマーク)

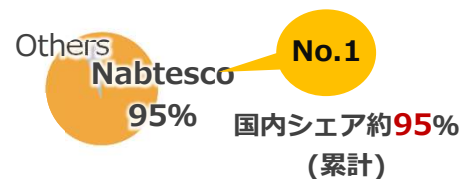
アクセシビリティソリューションセグメント (ACB) 主要製品

自動ドア

■ 自動ドア開閉装置



■ プラットホームスクリーンドア



主要顧客 (敬称略)

■ 自動ドア

各種建物用自動ドア：大手ゼネコン他建設工事会社、サッシメーカー、病院、銀行、公共機関

プラットホームドア：フランス地下鉄、中国地下鉄、他

マニュファクチャリングソリューションセグメント (MFR) 主要製品

包装機

■ レトルト食品用充填包装機



主要顧客 (敬称略)

■ 包装機

三井製糖、味の素、丸大食品、アリアケジャパン、ケンコーマヨネーズ、P&G、花王、ライオン、北米飲料メーカー、中国食品メーカー

うごかす、とめる。
Nabtesco